

第25回日本静脈経腸栄養学会に行ってきました。



平成22年2月25日（木）26日（金）
千葉県の幕張メッセ国際会議場にて
『未来の臨床栄養-研究の進歩と教育・
臨床の標準化』をテーマに、
約1300題に及ぶ演題で開催されました。

今年は、医師1名、薬剤師2名、管理栄養士1名、
言語聴覚士1名の計5名で勉強してきました。

NSTディレクターの棚橋先生が、
『当院NSTが介入した短腸症候群の一例』
を発表してきました。

栄養サポートチーム加算

平成22年4月の診療報酬改定で、急性期の医療機関では、
栄養サポートチーム加算200点【週1回】が新設されます。

栄養管理に係る所定の研修を修了した常勤スタッフ（医師・看護師・薬剤師・管理栄養士）の専任チームが設置され、いずれか1人は専従であることが施設基準として求められています。上記のほか、歯科衛生士・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士が配置されていることも望まれており、当院のNSTチームも算定に向け準備中です。

栄養摂取方法の選定は円滑に退院、入所、転院を進めていく上で重要なポイントです。入院中だけでなく、‘退院後どのような生活を送ることになるのか？’という視点を持ち援助していくことが必要ですね。

医療ソーシャルワーカー 杉本より